

矢賀 学区だより

第426号 (毎月1回)
平成30年11月 1日
編集発行

矢賀学区連合町内会
矢賀学区社会福祉協議会

東区青少年健全育成大会開催

東区青少年健全育成連絡協議会と東区役所の主催による「東区青少年健全育成大会(子ども達の声を聴く会)」が十月二十日(土)十時から東区民文化センター大ホールで開催されました。

この「青少年健全育成大会」は、子ども達が普段何を思い、何を考えているかというところに大人たちが耳を傾け、子どもと大人が思いを共感することができるところになるようにと、毎年開催されているものです。

佐伯大会会長の挨拶に続き来賓を代表して名越広島東警察署長の祝辞があり、子どもたちの意見発表に移りました。

今年度の発表は、小学生二名(牛田小学校・早稲田小学校)、中学生六名(東区内の市立中学校六校)、高校生二名(瀬戸内高校・広島朝鮮初中高級学校)の発表でした。

発表の内容は、友人関係や生徒会活動、自分で体験した出来事など日頃の生活を通して、感動したことや思ったことなどをそれぞれ発表されました。

いずれの発表も子どもたちのまっすぐな気持ちや伝わってきた、それぞれ感動や感銘を受けました。

また、発表の間ではアトラクションとして「戸坂中学校吹奏楽部」による演奏がありました。



開 会 式

今年の大会は、戸坂中学校校区の青少年健全育成連絡協議会が主管で、戸坂中学校の生徒さんの司会により進められたことも印象的でした。

本大会の開催にあたり、矢賀学区からは各町内会、各種団体、矢賀小学校とPTAから多数参加して頂き、大変有難うございました。

皆様のご協力に感謝申し上げます。

矢賀学区青少年健全育成連絡協議会

会長 光永 暢博

「やが祭り」開催

平成三千年度「やが祭り」が、九月二十二日(土)に矢賀小学校にて開催されました。

午後五時から出店を開店し、六時半から、今年度設立された「やが和太鼓クラブ」の太鼓演奏、続いて「芸石比治山神楽団」による神楽を行いました。

「やが祭り」をこれからも盛り上げていくため、有志の方に寄付を募りましたところ、八万九千円いただき、大変有難うございました。

この「寄付は今後「やが祭り」を充実させるために有効に使わせて頂きます。今後とも皆さまのご協力をよろしくお願いします。



やが和太鼓クラブの太鼓演奏

やが祭り実行委員会

矢賀学区社会福祉協議会
矢賀学区連合町内会

十一月・十二月の

主な行事予定

11月10日(土)

ふれ愛・イン・やが&

防災フェアと献血

11月18日(日)

男子ソフトボール大会

女子バレーボール交流会

11月20日(火)

矢賀小学校学童の

集団下校ハットロール

12月16日(日)

年末一斉清掃

矢賀学区だより編集委員会

グラウンドゴルフ大会開催

十月八日(祭)、矢賀学区グラウンドゴルフ大会が矢賀小学校グラウンドで開催されました。

町内会九チームの団体戦で競技を行い、結果は次のとおりです。

優勝 新町南組チーム
準優勝 新町中チーム
三位 六丁目チーム

優勝した新町南組チーム

男崎神社秋季大祭開催

十月二十一日(日)、晴天に恵まれたなか、男崎神社秋季大祭が開催されました。

今年は矢賀三丁目が本神輿の担当で、お祓いを受けた後、全町内を回りました。



本 神 輿

小学校だより

十月十五日(月)より、後期がスタートしました。昨年度までは、体育の日の三連休を境にしていたのですが、運動会と前期終業式の間が短いというので、一週間遅くしました。

後期の始業式で、子どもたちに自分の両親の話をしました。両親の話から、子どもたちにも人が喜ぶことを笑顔にする行動をたくさんしてほしいと呼びかけました。

私の両親は、島根県の出雲市で専業農家を営んでいます。今年で、父が八十八歳、母が八十七歳になります。跡継ぎの兄は、五年間の闘病生活の末、二年半前に亡くなりました。本当なら、兄に仕事を任せて二人でゆつくりと老後の生活を過ごすところですが、今でも毎日、農作業をしています。

米作りと果樹づくりをしているのですが、このような高齢者ですので、米作りは人に任せ、柿と梨だけは、今年も続けています。作っているのは、西条柿、富有柿、赤梨、洋梨等多品種です。現金収入を得るために、二人で努力してきたのだなあと思います。

す。そのおかげで、自分は大学にも行かせてもらいましたし、夢であった教員にもなれたことを本当にありがたく思っていますし、自分のできることは何でもして、恩返しをしたいなと思っています。そこで、昨年からは忙しい秋の収穫時期に手伝うことにしました。今年も先日、土日を使つて、帰省しました。

ちょうど、西条柿の収穫期で、朝から夕方までがんばっても採りきることができませんでした。柿を一つ一つ収穫しながら、「これだけの畑を二人だけでつくってきたんだなあ。」とその偉大さに尊敬の念をもちました。と同時にいつもと早くに手伝いに帰っておけばよかったなあという後悔の気持ちでいっぱいになりました。

手伝いを終えて、広島に帰るときに、両親が「ありがとう。本当に助かったよ。」と言ってくれました。体はくたくたでしたが、役に立てて本当によかったと思いました。

後期、子どもたちが、おうちの人、先生、友達、地域みなさんを笑顔にする行動をたくさんしてくれることを期待しています。

十一月の行事

十月31日(水)～2日(金)

野外活動(五年)

5日(月)～9日(金)学校へ行こう

週間

5日(月)避難訓練

6日(火)踏切教室(一・二年)

7日(水)就学時健康診断

9日(金)観劇会(広島交響楽団)

10日(土)ふれ愛・イン・やが&

防災フェア

12日(月)代休

13日(火)第二回小中合同研究会

20日(火)防犯教室 集団下校

21日(水)校外学習(三年)

28日(水)校外学習(一・二年)

29日(木)クラブ

30日(金)盲導犬についての学習

(三年)

校外学習(五年)

広島市立矢賀小学校

校長 原 徹



幼稚園だより

「運動会・ピラオーアフター」

今年の運動シーズンは、週末毎にやってくる台風に気を揉みました。

矢賀小学校の運動会は残念ながら平日開催となりましたが、いいチャンスとばかりに園児みんなで応援に出かけました。去年ペア活動の相手だった一年生、交流で遊んでもらった五年生の姿をみつけて一生懸命応援する子供たちの姿は、広い校庭だと余計かわいく見えます。自分たちの運動会を前にいい刺激となりました。

矢賀幼稚園の運動会は、台風接近の影響で後半空が真つ暗になり、途中激しい雨が降って中止になった昨年のことが頭をよぎりましたが、今年は何とか持ちこたえ、無事最後までプログラムを終えることができました。

運動会が終わったのを待っていたかのように本物の秋がやってきました。保護者の方にしつかり褒めていただいたのでしょうか、運動会が終わってからの園児は、表情が自信にあふれ、

これまで以上にキラキラと瞳を輝かせて登園してきます。

五歳児が踊った「キッズソーラン」の音楽が流れると、待ちかねたように四歳児が鳴子を持って一緒に踊ります。運動会までは気になりながらも遠慮してか、遠くから眺めているだけだったのですが、運動会が終わると、解禁？とばかりに鳴子に飛びついて、一緒に踊っています。誰に教わったものでもなく、見て聞いて自然に覚えたのでしょうか。門前の小僧ならぬ、幼稚園の園児習わぬダンスを踊る…です。四歳児が踊り始めると、教える気満々の五歳児、どれどれお手並み拝見とばかりに様子をみている五歳児…と五歳児の姿もいろいろです。



鳴子のカチカチという音が心地よく、思わず体も動きます。

友達と一緒に体を動かすことは、

澄み切ったこの秋空のように爽快です。運動会は日本独特の体育的行事ですが、やっぱり楽しい！

十一月の行事

1日(木)園児募集開始

うさぎルーム

8日(木)願書受付開始

15日(木)ともはと号来園

入園予定者決定

19日(月)わくわくランド

広島市立矢賀幼稚園

園長 井筒 敦子

児童館だより

街のあちろちろで、お祭りの幟がはためく光景が見られる季節になりました。秋の気配も深まって、動きやすくなったのか、連日卓球やドッチボールで遊戯室は大盛況です。

十月四日には「ホロホロ」さんを迎え、影絵を楽しみました。「ホロホロ」というグループのみなさんは児童館指導員のOBで構成されています。

(次頁へ)

色々な特技を生かして、影絵や人形劇、フラダンスなどを子どもたちに指導してくださっています。今回は影絵をメインに、腹話術やペープサート(紙人形劇)も見せて頂きました。影絵は「すてきな三人ぐみ」と、ちようどお月見の頃でしたので「かぐや姫」のおはなしでした。

今は月に行ける時代になったけれど、日本に伝わるお話だから、みなさんも知っておいてね、と言われました。本当に日本には沢山の民話があります。携帯電話のCMにたくさんの主人公が出てくるものがありますが、子どもたちはどのくらい知っているでしょうか。今度聞いてみたいと思います。また、影絵を鑑賞する間、「子どもたちはとてもお行儀が良いですね」とたくさん褒めていただきました。面白い所は笑い、腹話術のけんちゃんには、最初は「人間がしゃべってる!」と言っていたのに、途中からは「これ、ロボットじゃー」と…笑いのあふれたとても楽しい時間でした。

十一月のふれ愛・イン・やがでは、「カローリングに挑戦」します。ピョンチャンオリンピックで有名になった

「カローリング」の床本版で、ルールはほぼ、同じです。氷ではないので、ブラシでゴシゴシ…はできませんが、ぜひ体験しにきてください。

十一月の行事

1日(木)トランプピクスに挑戦

10日(土)ふれ愛・イン・やが

(カローリング)

15日(木)オセロ教室

19日(月)落語を楽しもう

広島市矢賀児童館

館長 大濱 美保子

こんにちは

保健師です



朝夕、ずいぶん冷え込んできました。皆さん、体調をくずされていませんか。「インフルエンザ」が気になる季節になりました。「そろそろ予防接種に行こうかな」と思う方、「予防接種しても、かかるもんはかかるけえ、予防接種は受けないよ」と言われる方、さまざまです。私も過去に予防接種後にインフルエンザにかかった経験があるので、この時期、予防接種を受けるべきか迷うところです。皆さんもご存知のとおり、インフ

ルエンザは、インフルエンザウイルスが口や鼻から体の中に入ることによって「感染」することにより起こる病気です。38℃以上の高熱が急に出現するのが特徴で、関節痛、筋肉痛などの全身症状が現れます。この状態を「発症」といいます。予防接種を受けることで、「発症」を抑える効果はある程度認められていますが、そもそもの「感染」は防ぐことができません。予防接種を受けることでの最も大きな効果は、「発症」を抑えることよりも「重症化」を予防する効果です。重症化しやすい、乳幼児や基礎疾患のある方は、予防接種を受ける効果は高いといえます。

また、インフルエンザの集団感染対策という視点においても、個人の「発症」を抑えるために予防接種を推奨し、集団でのウイルスの広がりを抑えるという意味で予防接種が有効であるといえます。

個人においては、「発症」や「重症化」を防ぐための予防接種も大切ですが、まずはインフルエンザにかからないこと、つまり「感染」を防ぐことが一番重要です。

○インフルエンザを予防するために

* 外出後の手洗い・うがい
* 咳エチケット(マスクの着用)
* 十分な休養とバランスの取れた食事をする

* 流行時は人混みや繁華街への外出を控える。

インフルエンザを予防して、元気に冬を過ごしましょう。

東保健センター 地域支えあい課

☎082(568)7729

保健師 檜崎 尚子

社会福祉協議会へ

温かいご寄付

ありがとうございます

去る九月十一日、矢賀二丁目の谷川昭様がご逝去になりました。

この度、長男 谷川真一様から生前何かとお世話になったお礼にと、金一封を本会にご寄付いただきました。

厚くお礼申し上げます。

ご寄付いただきましたご芳志は、町内の住民福祉のため有効に使用させていただきます。

矢賀学区社会福祉協議会

会長 山本 和登